



平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月8日

上場会社名 WDBホールディングス株式会社
 コード番号 2475 URL <https://www.wdbhd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野敏光
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 大塚美樹
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 079-287-0111

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	31,228	10.1	3,992	20.7	4,018	20.2	2,469	9.8
30年3月期第3四半期	28,361	17.7	3,308	33.4	3,343	34.8	2,736	91.5

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 2,437百万円 (13.7%) 30年3月期第3四半期 2,823百万円 (96.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	124.48	
30年3月期第3四半期	136.60	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	21,812	15,858	72.7
30年3月期	20,651	13,798	66.8

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 15,858百万円 30年3月期 13,798百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		7.00		10.00	17.00
31年3月期		9.00			
31年3月期(予想)				13.50	22.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,600	12.1	4,602	9.8	4,608	9.0	2,903	13.9	146.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	20,060,000 株	30年3月期	20,060,000 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	220,636 株	30年3月期	220,559 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	19,839,404 株	30年3月期3Q	20,033,740 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定に前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や所得・雇用環境の改善に支えられ、緩やかな回復基調が続きましたが、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動などが懸念され、先行きは不透明な状況で推移しました。

国内の雇用情勢におきましては、厚生労働省が発表した平成30年12月の有効求人倍率(季節調整値)が、1.63倍と、前月と同じ水準でした。また、総務省が発表した平成30年12月の完全失業率(季節調整値)は、2.4%と、前月から0.1ポイント低下しました。雇用環境は全体として着実に改善を続けております。

当社グループの中核事業である「人材サービス事業」につきましては、WDB株式会社において、全国に展開しております支店が、地域に密着したきめ細かなサービスを提供しておりますとともに、スタッフ養成のための研修所が順調に稼働し、より一層の収益向上に貢献しております。新卒者の常用雇用派遣を行っておりますWDB工学株式会社につきましても、全国的にスタッフを派遣しており、それぞれの分野において順調に業容を拡大しております。雇用情勢の改善によるスタッフの確保は、引き続き厳しい状況が予想されますが、より地域に密着した営業活動の実施や、当社グループ独自の研修制度の充実により、今後も様々な顧客ニーズにお応えしてまいります。

「CRO事業」につきましては、WDBアイシーオー株式会社及び電助システムズ株式会社の業績が堅調に推移しておりますほか、平成29年3月と同6月に子会社化しましたOy Medfiles Ltd. (メドファイルズ社)と株式会社コーブリッジがそれぞれの強みを活かした業務を行っており、当社グループの連結経営成績に貢献しております。この他にもアメリカやインドの各拠点が連携して営業活動を行っており、当社グループの「CRO事業」における更なる成長と収益の向上に取り組んでおります。

以上のような活動の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、31,228百万円(前年同期比10.1%増)となりました。

営業利益につきましては、3,992百万円と前年同期と比べ683百万円(前年同期比20.7%増)の増益となりました。また、経常利益につきましては、4,018百万円と前年同期と比べ674百万円(前年同期比20.2%増)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年第1四半期に固定資産売却益945百万円があった影響により、2,469百万円と前年同期と比べ266百万円(前年同期比9.8%減)の減益となりました。

各セグメントの業績につきましては、下記の通りとなっております。

① 人材サービス事業

理学系研究職派遣ならびに工学系技術職派遣が堅調に推移したため、当セグメントの売上高は、27,990百万円と前年同期と比べ2,352百万円(前年同期比9.2%増)の増収、セグメント利益(営業利益)は、4,026百万円と前年同期と比べ702百万円(前年同期比21.1%増)の増益となりました。

② CRO事業

当セグメントにつきましては、WDBアイシーオー株式会社および電助システムズ株式会社の受注が堅調に推移したことにより、売上高は2,638百万円と前年同期と比べ631百万円(前年同期比31.5%増)の増収、セグメント利益(営業利益)は、147百万円と前年同期と比べ43百万円(前年同期比22.8%減)の減益となりました。

③ その他

当セグメントの売上高は、599百万円と前年同期と比べ117百万円(前年同期比16.4%減)の減収、セグメント利益(営業利益)は58百万円と前年同期と比べ26百万円(前年同期比30.7%減)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、主として現金及び預金の増加により、総資産は21,812百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,160百万円の増加となりました。負債につきましては、主として未払法人税等の減少により5,954百万円となり、前連結会計年度末と比較して899百万円の減少となりました。また、純資産は15,858百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,060百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3期の連結業績予想につきましては、平成30年5月11日に発表致しました業績予想に変更はありません。

なお、当社では今年度より、剰余金の配当に関する方針について新たに定めております。詳細は、当社ウェブサイト「配当金・株主還元に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,908,229	11,780,161
受取手形及び売掛金	4,877,054	4,950,159
商品及び製品	10,087	13,258
仕掛品	49,095	59,980
原材料及び貯蔵品	123,277	113,393
その他	188,452	610,560
貸倒引当金	△1,194	△322
流動資産合計	16,155,002	17,527,192
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,601,926	1,489,093
土地	875,722	828,943
その他(純額)	248,221	186,388
有形固定資産合計	2,725,870	2,504,426
無形固定資産		
のれん	416,463	548,816
その他	29,109	33,764
無形固定資産合計	445,572	582,581
投資その他の資産		
投資その他の資産	918,241	945,363
繰延税金資産	445,666	278,219
貸倒引当金	△38,407	△25,053
投資その他の資産合計	1,325,501	1,198,530
固定資産合計	4,496,944	4,285,538
資産合計	20,651,946	21,812,730
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,894,078	1,830,153
未払法人税等	1,082,355	513,372
賞与引当金	506,866	405,408
その他	2,573,763	2,379,184
流動負債合計	6,057,064	5,128,118
固定負債		
役員退職慰労引当金	391,884	409,574
退職給付に係る負債	135,877	160,043
資産除去債務	112,914	117,078
その他	155,638	139,254
固定負債合計	796,314	825,950
負債合計	6,853,379	5,954,069

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	218,024	218,024
利益剰余金	13,209,120	15,301,766
自己株式	△742,919	△743,216
株主資本合計	13,684,225	15,776,574
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,486	18,660
為替換算調整勘定	66,668	54,957
退職給付に係る調整累計額	8,187	8,468
その他の包括利益累計額合計	114,341	82,086
純資産合計	13,798,567	15,858,660
負債純資産合計	20,651,946	21,812,730

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	28,361,212	31,228,386
売上原価	21,179,726	23,109,319
売上総利益	7,181,485	8,119,066
販売費及び一般管理費	3,872,862	4,126,861
営業利益	3,308,623	3,992,205
営業外収益		
受取利息	433	477
受取配当金	888	1,147
助成金収入	12,946	8,319
還付加算金	358	502
固定資産税還付金	-	8,552
受取保険金	2,457	2,240
保険解約返戻金	16,192	6,031
雑収入	7,287	10,878
営業外収益合計	40,563	38,149
営業外費用		
解約違約金	-	2,582
消費税差額	-	4,328
雑損失	5,346	4,953
営業外費用合計	5,346	11,864
経常利益	3,343,840	4,018,490
特別利益		
固定資産売却益	945,015	376
事業譲渡益	-	11,824
特別利益合計	945,015	12,201
特別損失		
子会社清算損	-	131,376
減損損失	-	21,390
その他	684	24,422
特別損失合計	684	177,189
税金等調整前四半期純利益	4,288,172	3,853,503
法人税、住民税及び事業税	1,482,735	1,214,494
法人税等調整額	68,913	169,414
法人税等合計	1,551,648	1,383,909
四半期純利益	2,736,523	2,469,594
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,736,523	2,469,594

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	2,736,523	2,469,594
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,240	△20,825
為替換算調整勘定	71,231	△11,710
退職給付に係る調整額	1,283	281
その他の包括利益合計	86,756	△32,255
四半期包括利益	2,823,279	2,437,338
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,823,279	2,437,338
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	人材サービス事業	CRO事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	25,638,348	2,006,075	27,644,423	716,788	28,361,212
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17,830	—	17,830	—	17,830
計	25,656,178	2,006,075	27,662,254	716,788	28,379,042
セグメント利益	3,324,123	190,957	3,515,080	85,037	3,600,118

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有機化合物製造事業、魚介類の養殖販売事業及び射出成形補助装置の製造開発事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,515,080
「その他」の区分の利益	85,037
全社費用(注)	△291,494
四半期連結損益計算書の営業利益	3,308,623

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「CRO事業」セグメントにおいて、Oy Medfiles Ltd. 及び株式会社コーブリッジを連結の範囲に含めておりません。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において470,296千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	人材サービス事業	CRO事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	27,990,954	2,638,005	30,628,959	599,426	31,228,386
セグメント間の内部売上高 又は振替高	20,963	20	20,983	-	20,983
計	28,011,917	2,638,025	30,649,943	599,426	31,249,369
セグメント利益	4,026,500	147,326	4,173,827	58,972	4,232,799

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有機化合物製造事業、魚介類の養殖販売事業及び射出成形補助装置の製造開発事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	4,173,827
「その他」の区分の利益	58,972
全社費用(注)	△240,593
四半期連結損益計算書の営業利益	3,992,205

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	人材サービス事業	CRO事業	計		
減損損失	-	-	-	103,137	103,137

(注) 「その他」の金額は、有機化合物製造事業に係る金額であります。

のれんの金額の重要な変動

「CRO事業」セグメントにおいて、DZS Clinical Service, Inc. (DZS Software Solutions, Inc. から名称変更) を連結の範囲に含めております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において212,414千円であります

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。